



普及センター活動報告

(報告者：丹後農業改良普及センター 吉浪係長)

タイトル	京都における農業の未来を皆で考えるFuture Design (第1回) 開催される ～主催：京都気候変動適応センター～	
施策名	<ul style="list-style-type: none"> ・京 都 府 総 合 計 画 ・地 域 振 興 計 画 ・京都府農林水産ビジョン ・条例、指針、計画等 ・普 及 計 画 課 題 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑮農林水産業の成長産業化 ・地域を支える人材の確保・育成 ・【戦略4】人づくりの裾野を広げ、産業・地域を支える多様な人材を育む ・ — ・ —
<p>【要 旨】地球温暖化に対応する農業分野での政策提案について30年後の未来人の想定で議論が行われました。</p>		
<p>【概 要】</p> <p>1 日 時 令和5年8月8日(火) 13時30分～17時10分</p> <p>2 場 所 丹後広域振興局 第4会議室</p> <p>3 出席者 京都気候変動適応センター：3名、三重大学：1名、与謝野町役場：1名 管内農業法人：2名、普及センター：1名</p> <p>4 内 容 地球温暖化など気候変動に伴う農業生産現場での諸問題に対し、現段階で打っておくべき対応策を、農家、行政、研究者がそれぞれの立場や視点で協議し、政策提案を行うため「Future Design (第1回)」が京都気候変動適応センター主催で開催されました。</p> <p>5 参加者の声、成果、今後の方向など</p> <p>参加者8名が2班に分かれ、30年後(2053年)に生きる未来人になった想定で京都の農業について議論し、過去(2023年)に取り組むべきであった課題抽出を行いました。普及センターでは、行政及び農家支援の立場で効果的な政策提案が導き出せるように引き続き協議の場に参画していくこととしています。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="172 1361 802 1756">  </div> <div data-bbox="842 1361 1417 1756">  </div> </div> <p>専用法被を着用し30年後の未来人として協議</p> <p>第1回：北部会場の参加者</p>		